

B-74 衣服の色彩に関する研究
(第4報) 毛糸の色についての考察
(1954~1962)

香川大 岩本 喜美

1. 毛糸編物衣服の色彩の傾向については、すでに1954年から1961年にいたる色度調査の結果は報告した。引続き1962年の毛糸および exlan 糸色見本1238種による同じ研究を行ない第3報を得た。そこで今回は、1, 2, 3報の結果を比較研究し、その間に見出される色彩の変遷の傾向と特色を立体的に把握しようとするものである。

2. 本研究は Guide to colour standard (日本色彩研究所) にもとづいて行なったものであり、色度調査の結果より色相環による Hue の分類, Value および Chroma の分類, 色立体における色の分布の各図表を作製し、それ等図表上にあらわれた特色と変化について比較を行なった。

3. 編物衣服としての色は非常に豊富で、安定して好まれる色相があると共に、種々の顕著な変遷を見出すことが出来た。即ち色の中心の移行, 色相環で顕著な山を示す色と反対色の関係, 著じるしく減少した色相, 山に対する Nech の移行, Chroma にあらわれた変化, 色立体に見られる新色等がこれである。